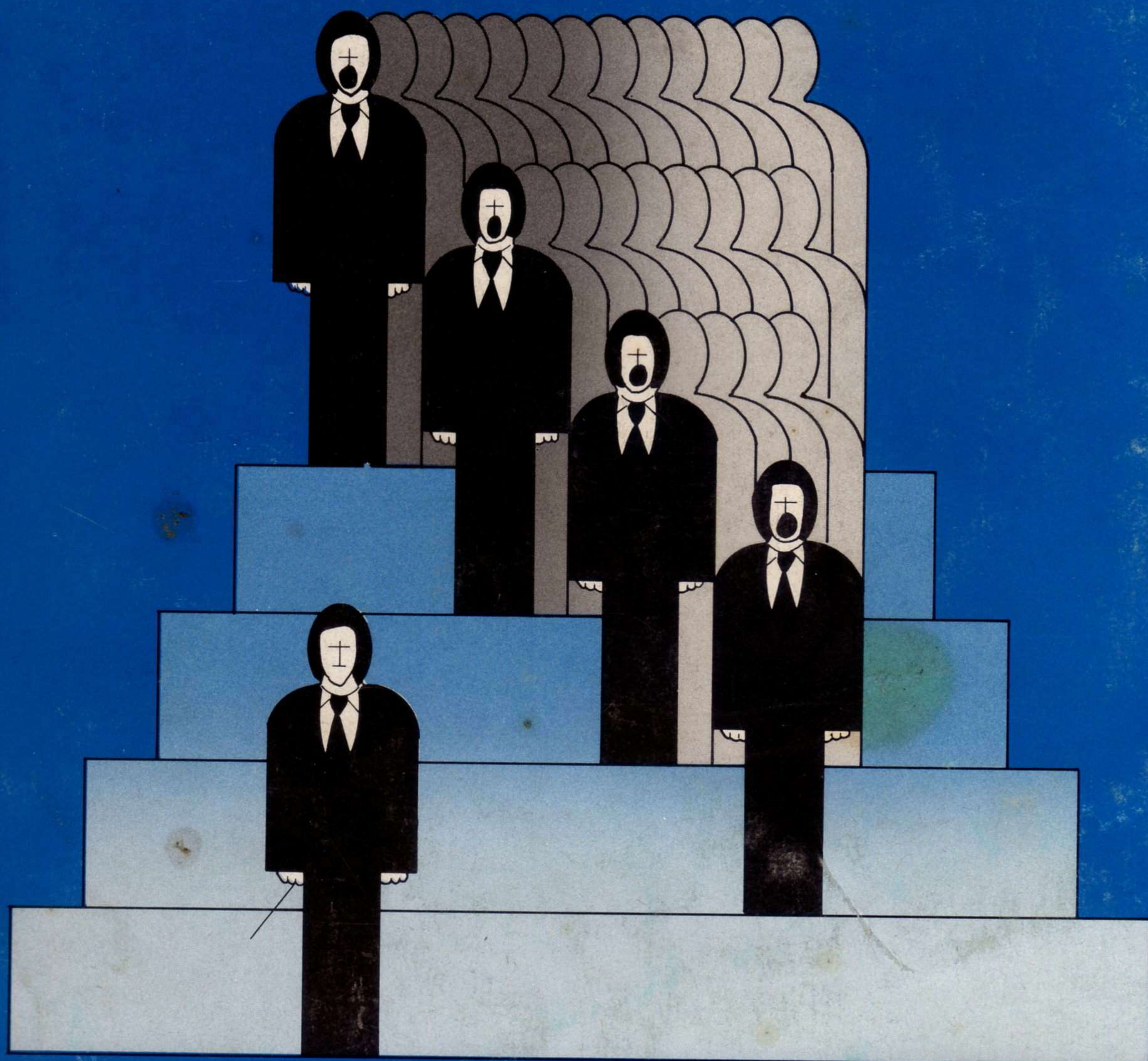
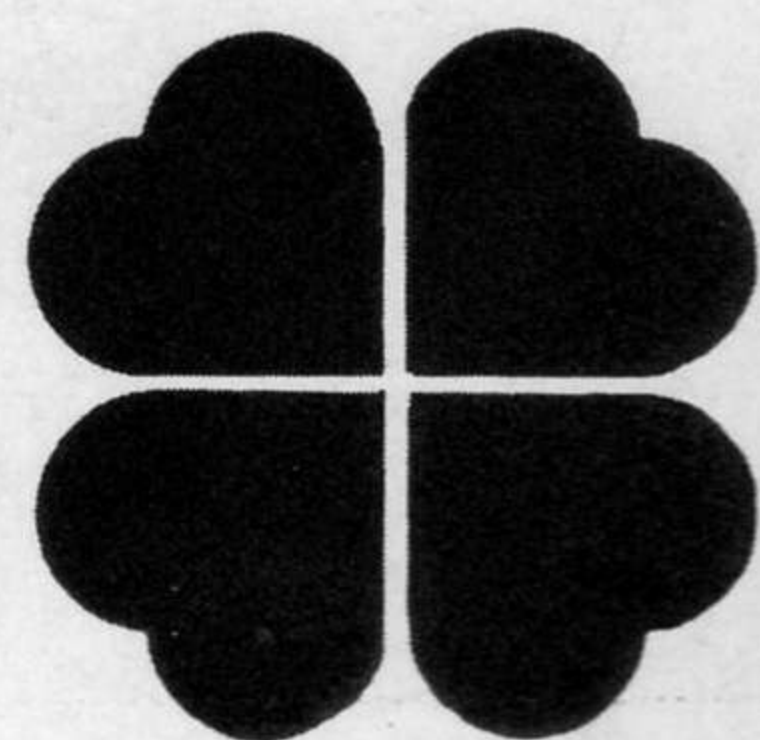


THE 14TH
REGULAR
JOINT CONCERT



第 14 回
大阪四大学
交歓演奏会



1979年6月14日(木)18時30分

森之宮青少年会館文化ホール

主 催

大阪四大学合唱連合



御挨拶

本日はお忙しいところ、第14回大阪四大学交歓演奏会にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。

当演奏会も、第一回が開催されて相当の年月が流れ周囲の情勢も変化しております。趣味の多様化が進み、個人の尊重が叫ばれる現代におきまして、時には自己の欲求を抑えつけられ、没個性を強要される合唱というのは時の流れに逆行するものであるかもしれません。多数の心が歌を通して、一つの魂へと昇華され得るものとすれば、それはまことに貴重な体験であり、昨今の風潮ゆえにいつそう意義深いものと申せましょう。

特に本日は、交歓演奏会の持つ独特の雰囲気と今宵が初舞台の新人部員を加えたハーモニーの新鮮さを感じていただければ幸いに存じます。

最後に当演奏会のために御協力を賜りました関係者の方々に心より御礼申し上げます。

PROGRAM

エール交換

I 大阪大学男声合唱団

男声合唱曲 「島よ」

作詞 伊藤 海彦
作曲 大中 恩
編曲 福永陽一郎
指揮 浅田 桂樹
ピアノ伴奏 東福まゆみ

II 大阪市立大学グリークラブ

ロシア民謡より

КАЛИНКА	カリンカ
СПИ, МЛАДЕНЕЦ	コサックの子守唄
КРАСНЫЙ-САРАФАН	緋色のサラファン
ДВЬНАДЦАТЬ РАЗБОЙНИКОВЪ	十二人の盗賊
ЭИ, УХНЕМ!	ヴォルガの舟唄

指揮 増田 由之

— INTERMISSION —

III

大阪府立大学グリークラブ

男声合唱組曲 「雨」

雨の来る前
武蔵野の雨
雨の日の遊動円木
十一月にふる雨
雨の日に見る
雨

作 詩	八木	重吉 他
作 曲	多田	武彦
指 揮	渋谷	太郎

IV

大阪外国語大学グリークラブ

Negro Spirituals

Wade in de Water
Little Innocent Lamb
Rock-a my Soul
Steal Away
Nobody Knows de Trouble I See
Ride the Chariot

指 揮	河原	敬
-----	----	---

V

合 同 演 奏

男声合唱とピアノのための

「ゆうやけの歌」

作 詩	川崎	洋
作 曲	湯山	昭
指 揮	林	誠
ピアノ伴奏	井谷	俊二

曲目解説

男声合唱曲

『島よ』

大阪大学男声合唱団

一人間の、とくに私達『男』の宿命を介て担っているかのように見える“島”を歌いあげることが、むずかしいことではありましたが、大変書き甲斐のあることでもありました。男声合唱にみられるようなたくましさやねばつこさを、混声合唱のもつ巾広さで一層厚いものにし、更にピアノの表現力を以って深く力強いものに仕立てました。――

―― 作曲者 大中 恩

とあるように、本来混声合唱の為に作られた曲ではあるが、男声合唱に於てもこの曲のモチ味は十分に生かせると思っている。たくましさやねばつこさ、多分に抽象的な言葉ではあるが、そんな合唱が出来れば、と願っている。

さて、英語でも、独語でも、“海”は女性的に促えられる。その海に浮かぶ島。果たして、島は男性として考えられるのだろうか。我々が島に込めた気持ち、そして男として歌いあげたこの曲が、みなさんの心に何らかの余韻を残すことが出来るとすれば、我々にとってこれにまさる喜びはありません。

島よ

碧い日々にとりまかれているものよ

時の波に洗われているものよ

翼もなく ^{ひれ}鰭もなく

^は涯てしなさに うづくまるもの

^{へだ}距てられ ただひとり 耐えているもの

憧れと 虚しさ あまたの眼に

みつめられているものよ

―― 島よ

島よ

のがれようもなく ^{ひと}孤りているものよ

心のなか 虚ろな海に

浮かんでいるものよ

日ごと夜ごと その身をそがれ

なお遠い ^{しるし}火の刻印を守りつづけるものよ

島よ

おまえは私ではないのか

散り散りの 人という名の

^{はか}儚ない島 ―――

私ではないのか

―― 島よ

ピアノ伴奏 東福 まゆみ

1973年ブランカムスリン女史の公開レッスン
に出演

京都華頂女子高等学校音楽科を経て、今春大
阪芸術大学演奏学科卒業

梅田志づ、藤本渥子両氏に師事。

ロシア民謡

大阪市立大学グリークラブ

私たちが、ロシアの農村を訪れるとしたら、地方の小都市からでも数時間から半日以上も、自動車に揺られなければなりません。それくらいロシアの大地は果しなくつづくのです。日本の風土の常識では想像すらできないでしょう。

時速80キロ以上のスピードで、広漠とした大地の中のまっすぐにつづいている広い道を走るのは実に痛快ですし、起伏が多く、小山のようにうねっている荒野を走っている一本の道路が次の丘、そしてまた次の丘と、階段のように重なりあって見えるのも壮観です。道の両側には小さな灌木と、可愛らしく咲き乱れる草花のほかは何もなく、それが幾時間も続くと、壮大さという言葉を除けば、殺風景という言葉しか残らないのかもしれないかもしれません。

やがて、はるか彼方に、大きな風呂敷に小さな三角や四角の布きれをあてたような感じの畠が見えてきます。そして、その布きれの中に黒い斑点のように見えるのはトラクターやコンバインです。その布きれのような畠が、しばらくすると私たちの眼の前に湖のような大きさにまでひろがり、今まで夢でもみていたのではないかという錯覚にとらわれてしまいます。

耳をすますとどこからともなく、娘さんたちの元気のいい歌声がきこえてきます。この上なく歌の好きなロシア人は、働きながら歌い、手を休めては歌い、腰を降しては歌うといったように歌の連続です。ロシアには古くから「村歌」(チャストウシカ)という独特なジャンルがあったほどですから、古今を問わず、農村の生活をテーマにした歌が数多く生まれています。古い村歌の中での代表的なものとして「カリンカ」を掲げなければなりません。

カリンカ

この曲はドン・コザック合唱団の合唱でよく知られていますが、カリンカとは赤い実のなる草花のことで、ロシアではこれを花嫁の象徴として用いられます。はじめはゆっくりしたテンポではじまった合唱がだんだん速くなり、激しいリズムと最高の速度になって終ると、それを受けて突然美しいテノールの独唱が、ゆっくりと新しい旋律を歌い、合唱が再びそれを受けついで歌うのがこの曲の特長です。この形式はロシアの民族舞踊のテンポの変化を生かしたものであるとして有名です。

男声合唱組曲 『雨』

大阪府立大学グリーンクラブ

男声合唱組曲「雨」、これ程グリーンメンにとって、ポピュラーな曲があるだろうか。しんみりと又、淡々とテナーソ
ロが詠う、あの鎮魂歌ともいえる終曲などは、女声合唱団の方でさえ口ずさむのを耳にする。組曲として完成したの
は昭和42年とのことだが、今や全国のグリーンクラブで愛唱歌となっていないところはないくらいだろう。詩が素晴ら
しい。もちろん、これだけ詩の良さを引き出した作曲については云うまでもない。何を云っても、今さら…の感がす
る。各人各様にじっくりと受け取っていただきたい。聞く人の誰をも、何らかの形で感動させ得るのではなかろうか。
作曲の多田武彦氏自身も「いつでも作曲の筆を折っていい」と思われたそうである。まさに作曲家冥利というもので
ある。

筆者は、伊藤整の詩に初めて出会って以来、いつもその詩には強烈な印象を受け、好きな詩人なのですが、「雨」の
第一曲は氏の作詩です。また蛇足ながら入試の現国に、氏の作品がよく出題されたこともあり、なつかしい方、又好
きな方も多いと思う。第四曲は堀口大学の詩だが「月光とピエロ」同様、一流の雰囲気を持ち、更に曲がいかにもピ
ッタリで氏の詩のファンが聞いてもうなずくのではないか。

アマチュアでしかも大学（一応、卒業なるサイクルがある）のグリーンクラブである以上、永きにわたり一つの曲を
歌い継ぐのは大変なことである。「雨」では特に終曲の「雨」があまりにもよく愛唱されている為、他の曲はあまり聞
いたことのない方もあると思う。我が府立大グリーンに於いても永く愛唱されてきたが、そのせいか全六曲通して歌う
ことは少ない。その意味でも今一度この「雨」を見直してみようと思ったわけです。あらためて感嘆させられたのは
云うまでもありません。よく知られている点では歌いにくいことは確かですが我々の稚拙さで、皆さんの「雨」に対
するイメージを多少なりともこわすかもしれぬことを恐れず、それにも増して今宵は我々なりに思いを込めて、お聴
かせしたいと思います。

I. 雨の来る前

伊藤 整 作詩

ざあつとやって来いよ 夏の雨
地上のすべてのものは用意している。
山の麓から低くかぶさってしまった雲よ。
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ
物ほしに白いものがかり
燕は黒く曇天の下を飛び交い
人は重い頭をして室にいる。
降って来いよ 夏の夕立
その時 始めて人の目はほつと開かれ
草木も葉を そよがせるのだ。

II. 武蔵野の雨

大木 惇夫 作詩

^{むらどり}
群鳥を追いながら
どの土地を濡らしにゆく
月の夜ごろを^{カサ}掠める雨
^{くめざ}
櫟の匂いのぶんとする雨
武蔵野の雨

VI. 雨

八木 重吉 作詩

雨のおとが きこえる
雨がふっていたのだ。

あのおとのように そつと世の^よために
はたらいていよう。

雨があがるように
しずかに死んでゆこう。

Negro Spirituals

大阪外国語大学グリークラブ

ヴァージニアの綿畑で
ミシシッピ川の畔で
^{ハーレム}
貧民街の教会で
^{ニグロ}
黒人たちは歌う

奴隷として、ものを言う家畜として
虐げられる酷い労働の日々
それでも黒人たちは歌う

魂のリズムで悲哀、熱狂、歓喜を歌う

^{ゲットー}
ニューヨークの黒人居住地で
ジョージアの赤土の上で
アラバマのタスキーギの黒人向上協会
で彼らは歌う
故郷アフリカを思い自由の天国を思い
つつ歌う

1619年8月、20名の黒人奴隷が北米、Jamestown に植民地労働力として「輸入」された。彼らを運んだオランダ船はたくさんの奴隷を運ぶために棺桶状の船底に寝かせ鎖で縛ったことから棺桶船と呼ばれ、その劣悪な環境の下では「一人の黒人を新大陸にもたらすためには五人の黒人が死ぬ」といわれた。

この20名に始まって19世紀までに6000万人の黒人がアフリカから輸入されたという。これがアメリカ黒人の苦難の歴史の始まりであった。

ニグロたちはしいたげられた生活の中でキリスト教に出会い、聞きおぼえの物語を彼らのリズムに乗せて歌い始めた。のちにジャズを生みソウルを生む黒人霊歌はこうして生れたのである。

— Wade in de Water —

旧約出エジプト記に取材。解放への力強い祈りの歌。

— Little Innocent Lamb —

I'm gonna serve God till I die, 'cause dare ain' no dyin' in dat hebbenly lan'. イエスを素朴に慕う歌。

— Rock-a my Soul —

アブラハムの胸に抱かれ安息を得たいという願いが救世主^{キリスト}が待ちわびる心に通う強烈なリズムの曲。

— Steal Away —

ヨハネの黙示録4:1 Judgement Day (裁きの日) には世界に稲妻が走りラッパが鳴り響くという記述にもとづく有名な曲。編曲も変化に富む。

— Nobody Knows de Trouble I See —

アルト独唱で世界的に有名。本日はテナーソロでお楽しみ下さい。

— Ride the Chariot —

チャリオットとは古代の馬二頭立ての戦車で、天使が乗り、迎えに来るとされる。解放、自由の象徴である。

合同演奏

男声合唱とピアノのための 『ゆうやけの歌』

この川崎 洋の詩によって作られた男声合唱曲は、文字通り今日的であるとともに、非常にノスタルジックでもある。この詩について読解する事は大変に困難であり、又そのことは無意味でもあろう。ここに使われた言葉は一語一語意味を持ったものとしてではなく音としてのリズム感、色彩感、あるいは感覚的なものとして使用され、詩の素材としてのみに使われているように思える。まさしく、それは音楽的なものだ。湯山 昭の曲はそれを増やしたり、重なったり、対決したりしながら進む。

雄々しく燃え、雄大な、それでいてものがなしい、腹立たしくさえあるあの「ゆうやけ」「大自然」。
今宵若者が声をひとつにする「ゆうやけ」は、かけがえのない青春への讃歌となるであろう

林 誠

ゆうやけの歌

川崎 洋

ゆうやけこやけ じゆびたあ 焚^たけ
焚^たけ おんがくを 魚のように
はだかの雲は杏^{あんず}いろ
焚^たけ 森を 海のように じらじら
じぶしい とちめんぼお
盗んだ娘こわきにかかえて とちめんぼお
向うで鉾^{あぜ}脈きらり 舐^あびかり
あかはら達は一せいに沼の岸に並んで讃嘆
北から山びこ 東からわっしよい
おーとばい ななめにきれいに火をふいて
それえ わっしよい じゃかじゃん
やけぶどう こげへび 焼けとかけ
くろんぼの娘のなには なんとやら
とり澄ましてみずうみに落ちてるバカな空
森の中の赤い屋根 洋館の窓 ショパン
さても
レエスは揺れる みつぐみのおとめえ
さあどうするどうする

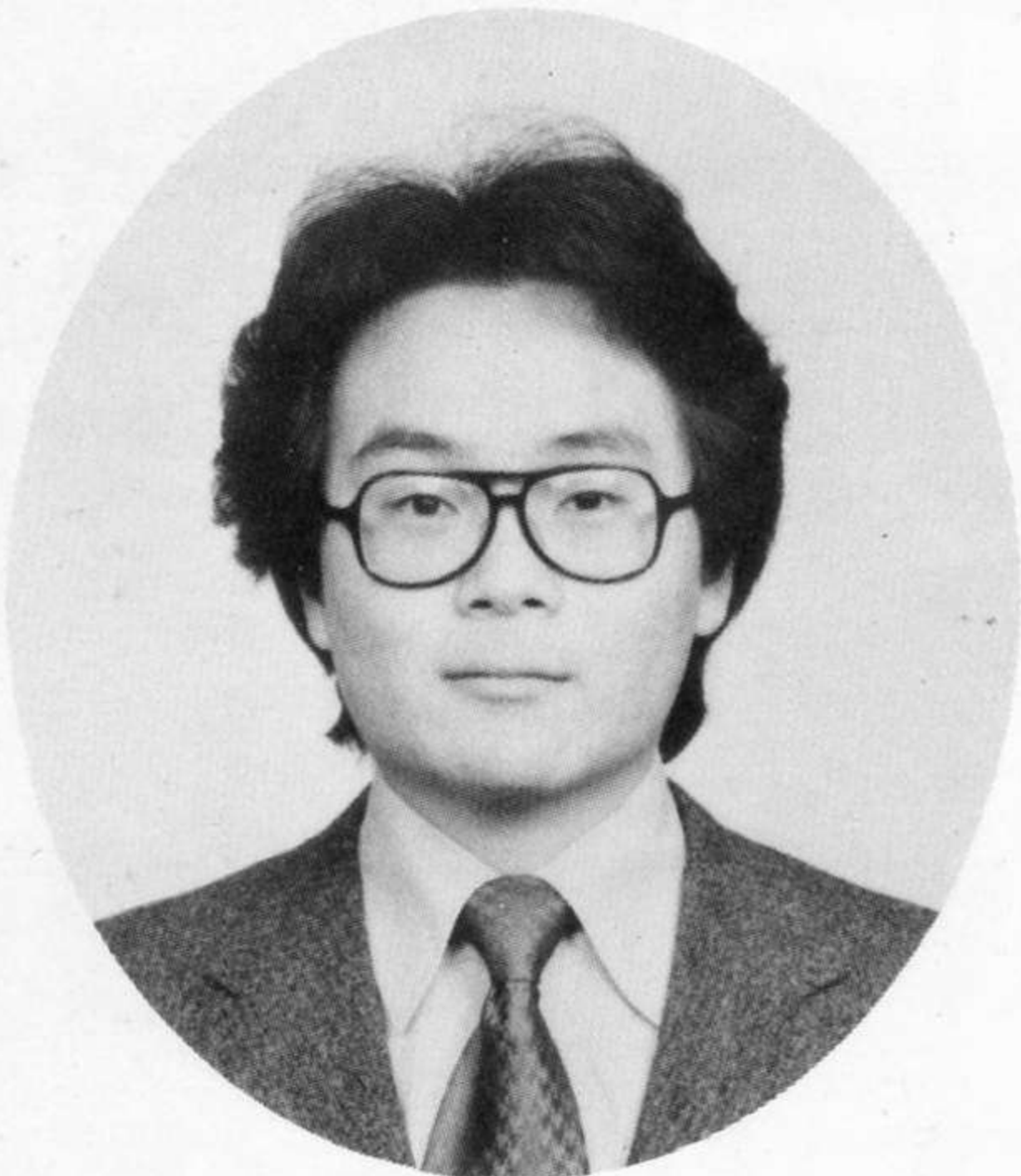
このゆうやけはオランダにもあるか
いちご いちご おお
いちごが喰いたいよ じゆびたあ
突如思い出す初恋のこと じゃかじゃん
じゆびたあ突如思い出すよじゃかじゃん
焚^たけ 森を 海のように じらじら
とろんぼーん は やさしく焚^たいて
ほるん も そえて やさしく焚^たいて
すぐりの茎でひつかいた
あなたのふともも なでさせて
まっしろのつやつやの皮ふには継目がない
ゆうやけこやけ うしろの正面だれ
コルシカ生まれのさつくす吹きは なぜ
ゆうやけみながら狂ったか じゆびたあ
とおくを見よう
ずうつとずうつと とおくを見よう
ほら あんなにとおくがはつきり見える
なぼれおん は 死ぬまぎわ
じゃほね の 若い詩人に逢いたいよ
しるふふれ
といったとかいわぬとか じゃかじゃん
よいよいまあよいではないか
.....

PROFILE



客演指揮者 林 誠

大阪音楽大学大学院修士課程を修了、日伊コンソルト、音楽コンクール、日伊声楽コンソルト、マダムバタフライ世界コンクール、民音コンクール、マリアカナロス（ヴァルセローナ）コンクール等に入賞、ミラノ・ベルリン、に留学。その演奏活動に対して、大阪文化祭賞、大阪府民劇場奨励賞、音楽フリティッククラブ奨励賞、他を受賞。合唱音楽の方面では、カワイ合唱団、大阪音楽学院合唱団等を創立、鳳女声ハーモニー、三和銀行合唱団等を指導。現在は大阪フィルハーモニー合唱団及び大阪外国語大学グリークラブを指導している。

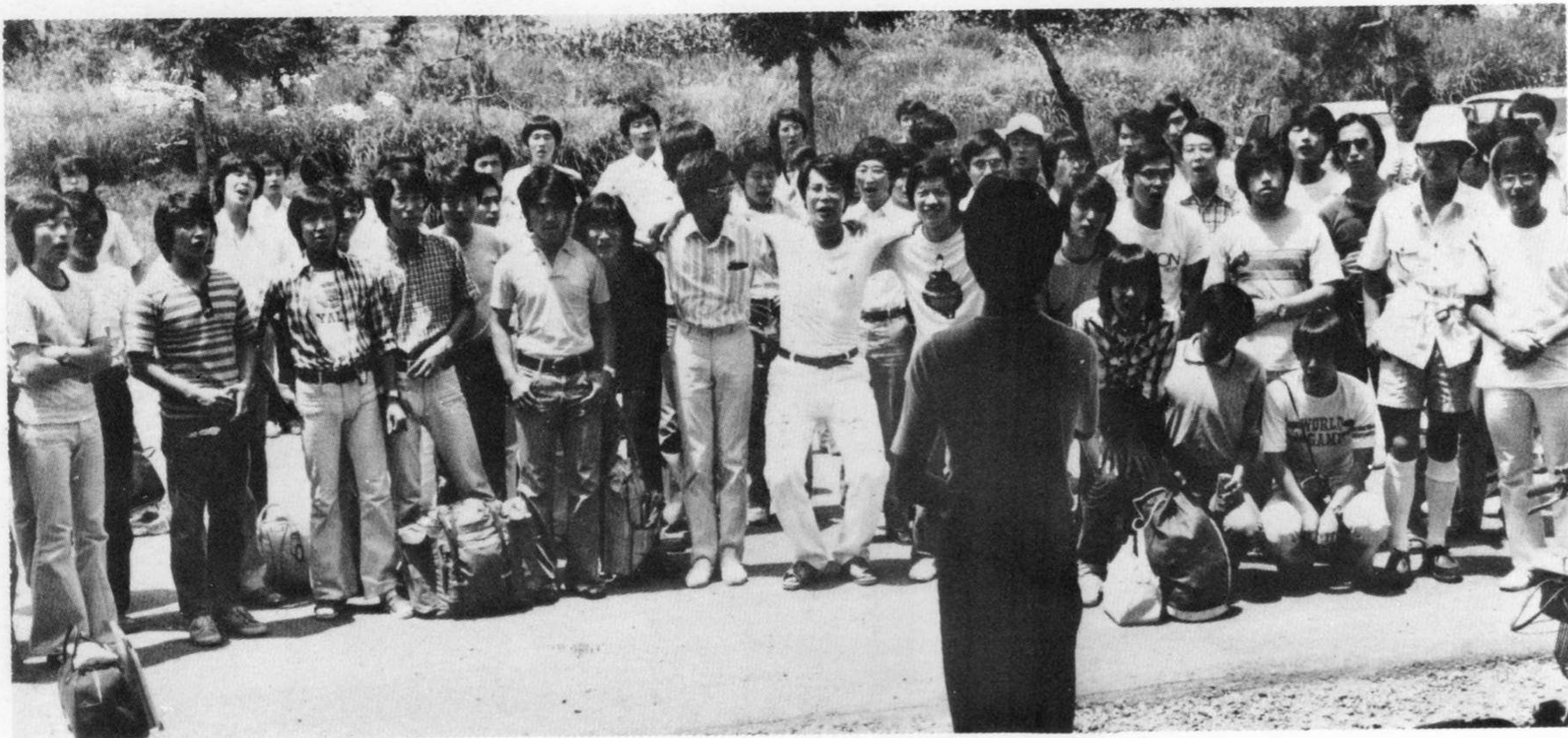


ピアノ伴奏 井谷 俊二*

昭和53年 大阪音楽大学音楽学部、ピアノ専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。
昭和54年 同大学専攻科修了。
張 奈津子、井沢 利の諸氏に師事。
現在、同大学研究員。

クラブ紹介

大阪大学男声合唱団



かつてのコバルトイエローのブレザーを脱ぎ捨て、このコバルトブルーのブレザーコートを着て、始めて舞台に立ったのは、思えば2年前の四大学のことでした。この年、ブレザーの新調のみならず、団員の数も90名を超え、しかも定期演奏会をフェスティバルホールで催すという、まさに阪大男声は面目を一新したのでありますが、以来2年の歳月を数え、その間にも不断の創造的破壊を繰り返し、他方、四半世紀の間に培ってきた我団のカラーとトーン、とりわけ力強さに象徴される響きの豊かさというものに一層の磨きがかかってきたと自画自賛してはばかりません。そして、この創造的破壊と伝統の共存を可能にしてきたものといえ、それはつまるところ(メンタルハーモニーへの限りなき探求もさることながら)「女性に対する絶ゆまぬ情熱」の一点に集約されると筆者などは考えるのであります。事実、一介の2回生が合ハイ係という肩書のみによって、委員長も指揮者も及びもつかない権力者にのし上り、皆、合ハイに出席せんが為に彼の御気嫌を伺い、その慈悲にすがり、買収、脅し、すかし、泣き落としというあらゆる手管を彼に向けるのであります。ここに至っては、委員長や指揮者などは、神聖に

して侵すべからずどころか象徴的ですらなく、前者は単なる公僕、後者は単なる肉体労働者とししか見なされず、はからずも、地球上最も権力構造の不安定な(人によっては最も民主的な)社会を構成し、強いては、不断の創造的破壊を可能たらしめているのであります。一方、女性に対するおもひの激しさは、合ハイを除いてはすべて練習に於て昇華されるのであります。雨の日も風の日も(あのコの為なら)あの挑発的な十三のネオンを尻目に、黙々と練習場に向かい、お蔭で団の伝統(トーン、カラー)も受け継がれるのであります。本日演奏致します「島よ」は、言わば、この黙々と練習場に向かう我が団員の後姿の淋しさを歌っているようで筆者などは涙を禁じえません。最後に、あのいかついおっさん顔が影を潜め、新鮮で柔和なフレッシュマンの紅顔が多数登場する今宵のステージこそは先の創造的破壊を最もよく象徴しているものと申せましょう。

それでは、この30名を超える紅顔の新入生とますます先輩達の築いてきた伝統を体現しつつある上級生とによって奏でられる、新たな飛翔たる青春の雄叫びを、今宵心ゆくまでお楽しみ下さいませ。

大阪大学学生歌

一、生駒の嶺に朝影さして

緑風さやけき銀杏の木蔭

若きいのちは力あふれて

歌ぞおほらに望みはるけし

叡智の泉掬みてつきせず

ほこりあり真理の岡べ

二、浪速の浦に夕潮みちて

葦間にこもる遠きうつし世

古きいさをは今につたへて

讃えよ明日の栄えはてなし

思索の小径もとめてやまず

はまれあり自由の岸べ

大阪市立大学グリーンクラブ



今年の市大グリーンは小粒になったのではないか、とは某OBの言葉。なるほど、練習風景等を見ていると、バイタリティーが服を着て歩いていた様な旧4回生が去った事もあって、良く言えばスリムでスマートに、悪く言えば野性味を欠いた個性の弱いクラブになったかの様です。しかしながら現実はそれ程甘くないのです。一見善良な小市民集団の本質をあばいてみると…

酒が入ると「アカシアの径」を下級生をバックに何回でも歌う、あくなき探究心の保持者を部長に、入学式の学生歌歌唱指導の時、客席に「声が小さい」と文句を言った、常に完全を求める指揮者（その後で本人は歌詞を間違えました）、ラジオで一言だけ歌ったA氏、風邪をひいて合宿に来て、ついに一言も歌わなかったB氏、コンパで倒れる迄YMCAを踊り続ける渉外の職権乱用氏、更に初練習の後OBと麻雀に行き、合ハイの出席率は先輩を驚かす程の、早熟の芸人新人Cやグリーンに咲いたひ弱な花、実は分類不能の雑草D

等の旧4回生に劣らぬバイタリティーの持ち主である1回生集団の存在は驚異ですらあります。一見常識人の仮面の下に潜む狂気をかくも赤裸々に呼び覚し、その一方でこの奇人集団を、ハーモニーの創造と云う簡単でしかも奥行の広い目的に向かって統合させて行くグリーの魔力に今さらながら驚かされます。

さて、今年の市大グリーンはロシア民謡を取り上げてみました。5月25日に市大を訪れたソ連のオリンピック使節団の歓迎レセプションで初演して、ソ連人をビックリさせた（余りの〇〇さに）いわくつきのロシア民謡、ロシアの大地に放り出されたら三日ともたないこと確実な我々にとって、広大なロシアの大地で育まれたロシア民謡を歌いこなすのは至難なことです。しかしそこは単純明快なグリーンメン。「コサックの子守唄」を聞いて退屈の余り居眠りしている人を見ても、感涙にむせぶ事でしょう。さあ幕開きです。

大阪市立大学学生歌

一、聞けや大和の清流に

久し歴史の足音を

今担いゆく若人の

果てぬ希望の前進を

吾等尽くさんその使命

二、見よや明けゆく日の本の

自由の光照らす世を

叡智に冴ゆる眼もて

そびゆ科学の殿堂に

吾等究めんその真理

大阪府立大学グリークラブ



皆様、今宵は大阪四大学交歓演奏会にようこそお越し下さいました。我々大阪府立大学グリークラブは、昨年度の定期演奏会以降、この大阪四大学交歓演奏会を目ざして日夜厳しい練習を行なっておりましました。この半年間を思い起こせば3月の追いコン、卒業式参列、入学式参列etc、また、一週間にのぼる休日なしの春合宿。この合宿中には、僅かの休息時間も惜しみインペーターに打ち込む者、やたら同宿の女性に、ちょっとしたいを出す者も続出しました。そして4月には新入生勧誘で、日頃女性に対して養なわれてきた「しつっこさ」を露骨に出し約10名の新入部員を、獲得致しました。この「しつっこさ」は4月中旬からの合ハイetcで発揮されたのは言うまでもありません。4月14日から5月13日まで連続5週間に及んだ合ハイも、その殆どがドツボに陥る結果となり、精神的痛手を受けた者が続出してしまい、その後遺症はその後数週間も残りました。その中で唯一の救いは合ハイにおける新入生の健闘です。ここでクラブの将来の鍵を握る、1回生数名を紹介しましょう。まずはN₁君、彼はN博士と

呼ばれ音楽性においても将来が楽しみである。T君、彼は同じ高校出身のY氏と性格等が似ている。N₂君、彼は非常にかっこよく女性にもてる。(かもしれない)そしてS君、彼は入部第1号でクラブに対する情熱には定評がある。I君、彼は水割り2杯でKNOCK-OUTしてしまった。他にも多くの1回生がいるが音楽性においては例年よりも、はるかに上であることは明白である。また、1回生は1回生でも大学院1回生のI氏、彼は遊びにかけては天才的で、「すべての遊びはI氏に始まる」とは誰が言ったやら。このI氏も今宵は思う存分歌ってくれることでしょう。まだまだエピソードは沢山ありますが、とても公言できるものではありません。こんな事ばかり書いてみると、練習はいつするのか?ということになりますが、これでも練習量は多い方で、この半年間みんなかなりの練習量を積んできました。この半年間の成果を今宵のステージで思う存分、出してみたいと思います。それでは皆様、じつくりと、お聴き下さいませ。

大阪府立大学学生歌

一、朝陽に光る海原の

風さわやかに吹きなびく

河内野原にそびえ立つ

我が学舎のその名こそ

大阪府立

いざいざ栄あれ

我等の大学

二、真昼の陵の常盤木に

百舌鳥たからかに鳴き渡る

古き歴史の跡にして

我が学舎のその名こそ

大阪府立

いざいざ栄あれ

我等の大学

大阪外国語大学グリークラブ



外大グリーは心理学研究の宝庫だ。個性豊かで人情深い。それぞれがグリーの中で、自分の存在を確かめあうかのように自己主張している。ところが、50余年このかたグリーの性格及び声格は変わらないという。そこで、Gleemenの琴線に触れてみよう。

見えっ張りで、お人良し

後輩の先輩！先輩！という声にすぐ酔いしれ、大見えを切って後輩におごってやる。ところが、翌日には生協でラーメンをすすっているのである。

頑固で、寂しがりや

グリーメンをいじめるのは簡単だ。仲間はずれにすればよい。すると、その男は片隅でかたくなにいじけている。そのいじけようがあどけなくかわいい。そのあどけなさに魅せられて声をかけるや、その男は目の輝きを増し、元気いっぱい話し始めるのだ。

義理に強く、情にもろい

ある先輩が悪性の風邪にかかった。すると毎日毎日看病に後輩が訪れた。3日目に、その先輩は全快したが、後輩はその日から風邪で寝込んでしまった。

自己顕示欲旺盛

新入生当時はみんな控え目で、自分の意見を述べるのはばかっていた。月日がたつにつれ、自分の存

在を意識し、目立とう目立とうとするのである。それが度を越すと礼儀知らずと人から非難され、節度を保つと、みんなのアイドルとなる。まさに紙一重である。

このような性格は50年余の伝統に培われ、受け継がれたものである。4年間グリーで生活すると、しだいにグリーの味がしみ込んで、こくのある人間にみぎきあげられると当人達は思い込んでいる。しかし、決して画一的な人間になっていくのではない。自分の存在をかみしめ、自分をみつめ直し、自分の個性を築きあげていくのである。

音楽に対しても、また、ひとりひとり表現方法は異なっている。あるものはストレートに情熱を歌にぶつけ、あるものは内に秘めて歌い続ける。そこには自己の主張があり、自己の拡大がある。声をあわせ心をひとつにして歌うからハーモニーができるのではない、自分の音を主張しあうからハーモニーができるのだ。単なるムードではなく、緊張関係にある音の調和。互いに主張しあう音の集まりとしてのハーモニーはそこから生まれる。そこには躍動する生命が潜む。

今宵も私達は黒人霊歌を取り上げる。
先輩に込めた情熱に、私達の情熱を重ね合わせて。

大阪外国語大学学生歌

Gaigo will shine tonight
Gaigo will shine!
Gaigo will shine tonight
all down the line!
Gaigo will shine tonight
Don't they look fine!
When the sun goes down
and the moon comes up
Gaigo will shine,
Gaigo will shine!

Varsity

Varsity! Varsity!
Osaka Gaikokugo Daigaku!
Praise to thee we sing,
Praise to thee our alma mater
U. Rah Rah!
Osaka Gaidai!

大阪四大学交歓演奏会の歩み

第1回	1962年6月19日	合同曲「巡礼の合唱」他	毎日ホール
第2回	1963年11月12日	合同曲「ウ・ボイ」他	産経ホール
第3回	1967年6月17日		阪大中之島講堂
第4回	1968年6月18日	合同曲「Media Vita」	府立厚生会館ホール
第5回	1970年6月9日	合同曲「狩人の合唱」他	森之宮青少年会館文化ホール
第6回	1971年6月	合同曲 ロシア民謡	大阪厚生年金会館中ホール
第7回	1972年6月13日	合同曲 男声合唱組曲 「月光とピエロ」より	森之宮青少年会館文化ホール
第8回	1973年6月4日	合同曲 Sea Shanty より	森之宮青少年会館文化ホール
第9回	1974年6月7日	合同曲「狩人の合唱」他	大阪厚生年金会館中ホール
第10回	1975年6月27日	合同曲 男声合唱のための レクイエム「碑」	大阪厚生年金会館中ホール
第11回	1976年6月18日	合同曲 男声合唱組曲 「子供の国」	大阪厚生年金会館中ホール
第12回	1977年6月17日	合同曲 合唱組曲「日曜日」	大阪厚生年金会館中ホール
第13回	1978年6月14日	合同曲 ソプラノと男声合唱 のためのカンタータ 「明日への足音」	森之宮青少年会館文化ホール

各合唱団の今後の演奏会スケジュール

—— 大阪大学男声合唱団 ——

1979年11月	第6回関西六大学合唱演奏会	大阪フェスティバルホール
1980年1月	第27回定期演奏会	大阪フェスティバルホール

—— 大阪市立大学グリークラブ ——

1979年12月	第29回定期演奏会	大阪郵便貯金会館ホール
----------	-----------	-------------

—— 大阪府立大学グリークラブ ——

1979年12月	第23回定期演奏会	森之宮青少年会館文化ホール
----------	-----------	---------------

—— 大阪外国語大学グリークラブ ——

1979年12月	第23回定期演奏会	森之宮青少年会館文化ホール
----------	-----------	---------------

大阪四大学合唱連合委員

大 阪 大 学	寺 尾 敏 康
大 阪 市 立 大 学	倉 田 友 英
大 阪 府 立 大 学	岡 本 重 夫
大 阪 外 国 語 大 学	永 谷 勉



13時間で 英文タイプが 打てます

英国からやってきた画期的な視聴覚システム。
従来3～6カ月かかったタイプ訓練のイメージをぬ
り変えました。光と音の楽しいプログラム学習を1
日1時間。わずか13時間で、知らず知らずの中に、
あなたの指が英文タイプを覚えてしまいます。語学
力・年齢は無関係。自習もまったく不要です。

- 見学を歓迎いたします。月～金曜日13:00～20:00
- お好きな時間をお選びください。13:00～20:15まで1日6回の講習があります。毎日おつづけください。(土・日・祭は休み)
- 公開説明会にお越しください。土曜日10:30、13:30の2回

SIGHT & SOUND
サイト&サウンド

大阪センター (06)315-8021

〒530 大阪市北区太融寺町8番8号 日進ビル3階

アフターらは
どちらの
パブへ。

★飲んで食べればみんな大物。

心はグランド
GRAND PUB

★今夜はマイルドに生きたいな。
心はマイルド

the Royal

人情まろやか
ぱぶ茶屋

★ ぽケットにオンラインカードを入れて…。

*From OSAKA
around Japan*

● NAGASAKI
● HAKATA
● KOKURA
● KAGOSHIMA
● HIROSHIMA
● MATSUYAMA
● OKAYAMA

● SAPPORO
● HIMEJI
● KOBE
● KYOTO
● SENDAI
● OSAKA
● SAKAI
● NAGOYA
● TOYOHASHI
● YOKOHAMA
● GINZA
● SHINJUKU

（こ）（れ）（が）（噂）（の）
Online[★]system

世界初のユニークなキープボトルシステム——。

これが、噂のオンラインシステムです。オンラインカード1枚
あれば、北は札幌から、南は鹿児島まで、全国のグランド・パ
ブ、ザ・ロイヤル、ぱぶ茶屋でマイボトルが楽しめます。

DAIWA JITSUGYO GROUP 大和実業グループ

本部/大阪市北区芝田2丁目1番18号西阪急ビル10階 ☎ (06) 372-8571(代)

近頃 日本人の酒の飲み方が 上手になつたと 思いませんか？

同じ飲むなら、楽しく飲みたい。心から打ちとけていて、しかも乱れず、べとつかず。節度のある飲み方をしたい。そういえば、自分のペースを知り、自分の飲み方を守る人が増えてきたように思うのです。なごやかな、いい酒を見かける機会も多くなりました。そして、そんな酒席で、かならずといっていいほど目に付くのが、あのまあるいボトル。まろやかなオールド。このウイスキーが、まんなかにデンと置いてあるだけで、とてもいい雰囲気になることも、もうひとつの事実のようです。



世界のウイスキー

サントリー オールド

標準的な小売価格 2,350円 製造・販売サントリー株式会社

「これなら 自由に 聴けそうだ」

これ、コンサイスコンポ。

こんなに小さくても美しい音はテクニクス。

居間なんかにはさりげなく置くのもいいし

ボクだったら、書斎に持ちこんで

じっくり聴きたいね。コンサイスコンポで

あなたのお部屋を素晴らしい

コンサートホールに変えてみませんか。

と、作曲家小林亜星さん。

●新開発のパルス電源が

A4サイズのコンポを実現。

42W+42W(モノラル80W)の余裕を持つ

静寂のDCパワーアンプ。

●SN比88dB(MM)、

MCプリ・プリアンプ内蔵。

機能性と洗練のステレオプリアンプ。

●アクティブサーボロック、

LEDアクティブセンサー採用。

シンプルな機能美、FM/AMチューナ。

シンプルで機能美、FM/AMチューナ。



●写真のプレーヤSL-1301はダストカバー付です。

コンサイスコンポ

音のエスプリ凝縮コンポーネント。



- ステレオ/モノ DCパワーアンプ.....SE-C01.....標準価格 65,000円
- ステレオプリアンプ.....SU-C01.....標準価格 50,000円
- FM/AMチューナ.....ST-C01.....標準価格 35,000円
- ステレオカセットデッキ.....RS-M03.....標準価格 59,800円
- リアフェイズスピーカシステム.....SB-F1 標準価格 18,500円(1本)
- クォーツD.D. フルオートプレーヤ.....SL-1301 標準価格 59,800円
- スピーカスタンド.....SH-S1(SB-F1用)標準価格 4,400円(2台1組)

Technics

●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。